

JASDAQ 銘柄コード 7564

2012年3月期 第3四半期決算説明会

～ エブリデー・ロー・プライス政策の推進と新規地区の出店を強化 ～



株式会社 ワークマン

2012年2月9日 開催

- ・第3四半期決算の概要P3~P11
- ・2012年3月期決算の見通しP12~P14
- ・取組み状況P15~P19
- ・第3四半期決算の詳細P20~P24

第3四半期決算の概要

2012年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の概要1

第3四半期累計期間 4月～12月



<百万円、%>

	2011年3月期		2012年3月期	
	第3四半期累計期間		第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	39,716	+8.6	46,504	+17.1
(既存店売上高)	—	+6.6	—	+15.4
営業総収入	28,395	+10.9	33,786	+19.0
販売費及び一般管理費	5,698	+8.4	6,000	+5.3
営業利益	3,498	+22.0	5,283	+51.0
経常利益	4,171	+19.0	6,001	+43.9
特別損失	493	—	16	△96.7
四半期純利益	1,950	+4.2	3,141	+61.1
1株当たり四半期純利益	95円59銭		153円96銭	

決算の概要2

第3四半期会計期間 10月～12月



<百万円、%>

	2011年3月期		2012年3月期	
	第3四半期会計期間		第3四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	15,354	+7.5	18,186	+18.4
(既存店売上高)	—	+5.6	—	+16.7
営業総収入	11,041	+10.3	13,111	+18.7
販売費及び一般管理費	1,989	+10.9	2,068	+4.0
営業利益	1,688	+12.4	2,386	+41.3
経常利益	1,915	+11.4	2,637	+37.7
特別損失	50	+199.9	—	—
四半期純利益	1,011	+9.8	1,337	+32.3
1株当たり四半期純利益	49円56銭		65円56銭	

第3四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 11店舗、スクラップ&ビルド(既存店舗の活性化) 1店舗、閉店 1店舗
 - ・重点開発エリアの福岡県に 8店舗開店
 - ・相馬店(福島県)スクラップ&ビルド
- 2011年12月末 675店舗
(2011年3月末比 +10店舗、2010年12月末比 +18店舗)

店舗運営形態

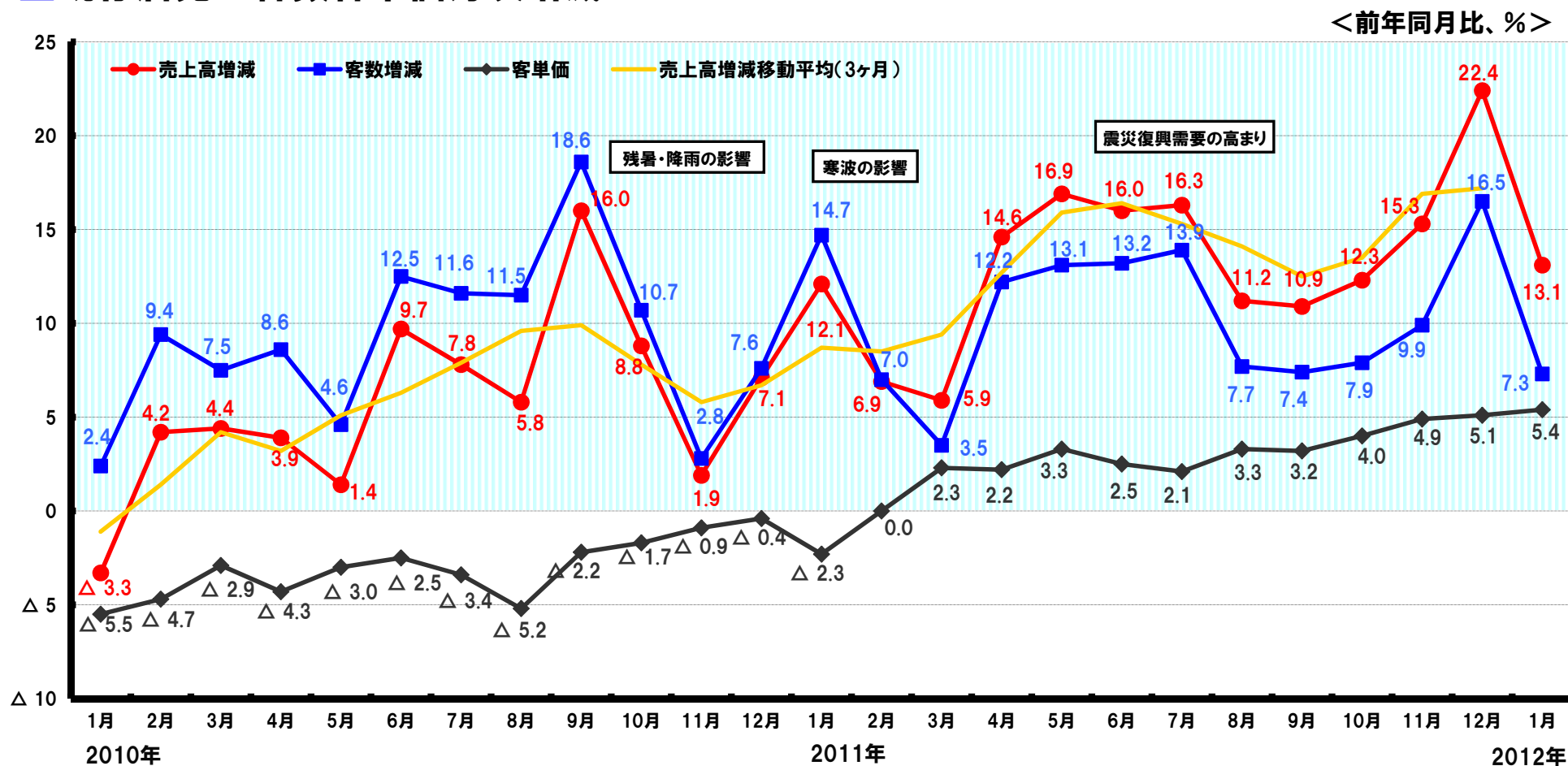
- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2011年12月末 554店舗
(2011年3月末比 +46店舗、2010年12月末比 +46店舗)
- FC店舗比率 82.1%
(2011年3月末比 +5.7ポイント、2010年12月末比 +4.8ポイント)

販売強化

- 売場の標準化……売場レイアウトを新店パターンへ統一
FRM(納品時の姿のまま陳列出来る商品)の導入、コア(核)商品の売場提案を強化
- 商品力のアップ……エブリデー・ロー・プライス(EDLP)政策の強化
プライベート・ブランド(PB)商品の開発
- スーパーバイザー(店舗指導員)の教育強化……加盟店の発注・在庫管理技術が向上

月次推移と要因

■ 既存店売上客数客単価月次増減



10/3期
4Q既存店売上
+1.3%

11/3期
1Q既存店売上
+5.1%

2Q既存店売上
+9.6%

3Q既存店売上
+5.6%

4Q既存店売上
+8.1%

12/3期
1Q既存店売上
+15.9%

2Q既存店売上
+13.1%

3Q既存店売上
+16.7%

販売状況 第3四半期累計期間 4月～12月



チェーン全店売上高 465億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店	東日本エリア 既存店	西日本エリア 既存店
売上高	+17.1%	+15.4%	+19.4%	+10.5%
客数	+13.3%	+11.5%	+14.6%	+7.6%
1日当たり平均客数	—	114人(+11人)	—	—
客単価	2,319円	2,325円	2,354円	2,259円
	+3.4%	+3.5%	+4.2%	+2.7%
1品単価	831円	832円	830円	835円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点	2.8点	2.7点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

県別既存店前年同期比 第3四半期累計期間 4月～12月



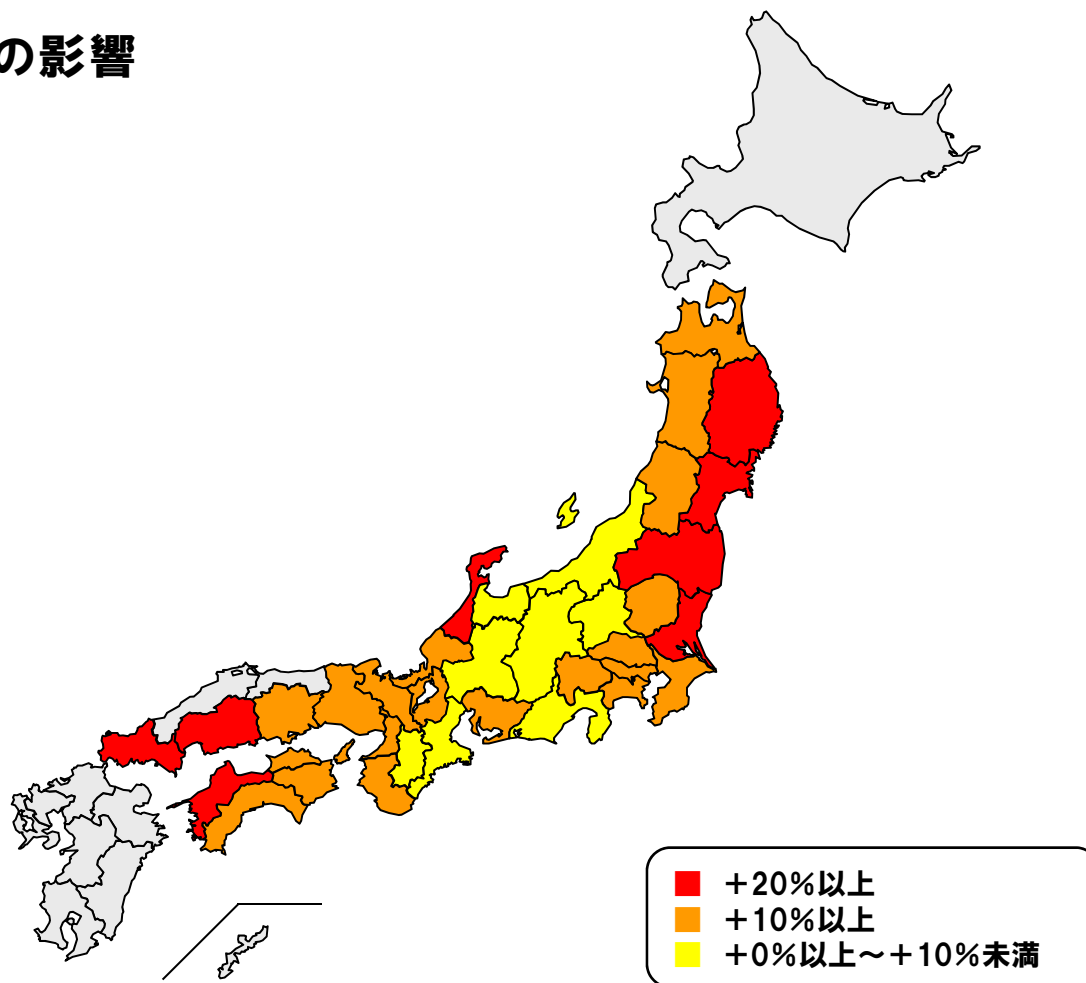
既存店売上高前年同期比 +15.4%

■ 震災による復旧・復興作業の影響

- ・宮城県 +83.0%
- ・福島県 +49.9%
- ・岩手県 +42.8%
- ・茨城県 +25.1%

■ 新規エリアの成長

- ・山口県 +43.1%
- ・愛媛県 +21.9%
- ・広島県 +21.3%



商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2011年3月期 第3四半期累計期間		2012年3月期 第3四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	3,906	+11.4	4,561	+16.8	コア(核)商品(靴下、肌着、半袖Tシャツ、ハイネックシャツ、シーズンワーキングウエア等)の売場提案を強化。
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	4,080	+14.6	5,020	+23.1	夏物では、「涼しく快適」な衣料品の需要増。 冬物では、防寒ジャンパー、インナー類の販売好調。
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	11,669	+6.6	13,765	+18.0	通年物の作業服の販売好調。
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足 袋・長靴・厨房シューズ等	8,120	+7.8	9,466	+16.6	安全スニーカー、安全長靴、踏み抜き防止中敷の販売好調。冬物では、防寒長靴、防寒中敷の販売好調。
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメット・マスク等	10,447	+9.6	12,186	+16.7	軍手、ビニール手袋、合羽の販売好調。 冬物では、防水防寒合羽や防寒作業手袋の販売好調。
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,492	△1.2	1,503	+0.7	不織布用品(使い捨てタイプのツナギ服、ヤッケ、マスク等)の販売好調。
合計	39,716	+8.6	46,504	+17.1	

商品別売上構成



■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較

<%>

		2009年3月期 第3四半期 累計期間	2010年3月期 第3四半期 累計期間	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期増減	2010年3月期	2011年3月期
衣 料	■ファミリー衣料	9.5	9.6	9.8	9.8	△0.0	9.7	10.0
	■カジュアルウエア	10.1	9.7	10.3	10.8	+0.5	9.2	9.7
	■ワーキングウエア	31.1	29.9	29.4	29.6	+0.2	29.0	28.4
用 品	■履物	19.7	20.6	20.4	20.4	△0.0	21.0	20.8
	■作業用品	25.8	26.1	26.3	26.2	△0.1	27.2	27.5
そ の 他	■白衣・ユニフォーム	3.8	4.1	3.8	3.2	△0.6	3.9	3.6
合計		100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0

第3四半期決算の概要

● **2012年3月期決算の見通し**

取組み状況

第3四半期決算の詳細

決算の見通し



<百万円、%>

	2011年3月期		2012年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	51,933	+8.9	58,644	+12.9
(既存店売上高)	—	+6.9	—	+11.3
営業総収入	37,010	+11.1	41,901	+13.2
販売費及び一般管理費	7,579	+7.4	7,880	+4.0
営業利益	4,476	+25.7	6,085	+35.9
経常利益	5,391	+21.6	7,003	+29.9
特別損失	557	+391.0	66	△88.2
当期純利益	2,742	+10.5	3,957	+44.3
1株当たり当期純利益	134円44銭		193円98銭	
1株当たり配当金	40円00銭		40円00銭	

決算の見通しポイント

通期業績予想

- エブリデー・ロー・プライス(EDLP)政策の強化で来店客数増
- 近畿・中国・四国等の店舗年齢の若いエリアの知名度向上で来店客数増
- シーズンのコア(核)商品の売場提案強化で客単価増
- 震災復興作業で作業服・作業関連用品の需要増
- 通期チェーン全店売上高 586億円 前期比 +12.9%
 - ・既存店売上高前期比 +11.3%
 - ・既存店客数前期比 +9.0%前後を想定
 - ・既存店客単価前期比 +2.5%前後を想定
- 経常利益 70億円 前期比 +29.9%
当期純利益 39億円 前期比 +44.3%
2期連続の増収増益で過去最高益達成へ

第3四半期決算の概要

2012年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第3四半期決算の詳細

出店計画

新規エリア福岡県への集中出店で客数増加を図る

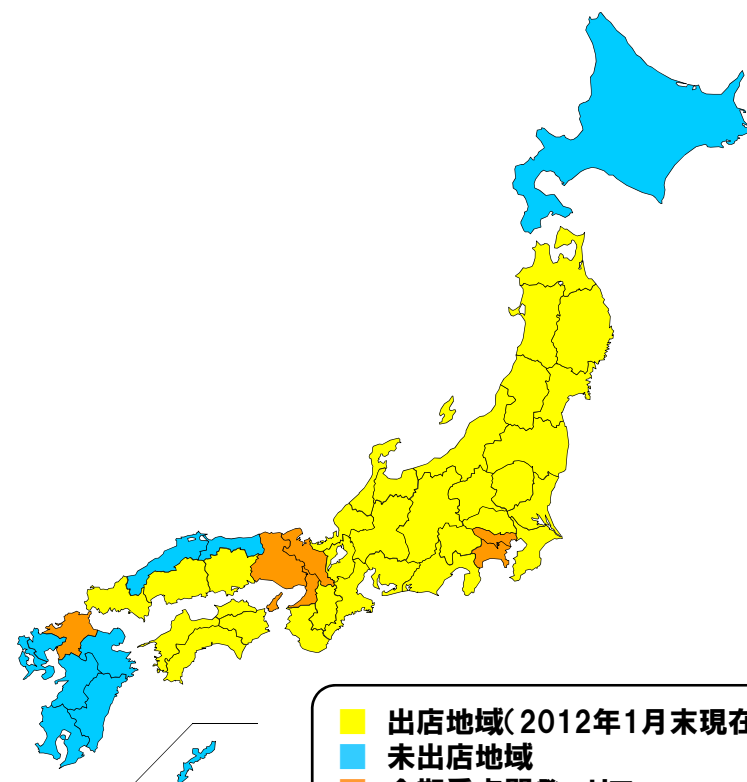
■ 2012年3月期計画

- ・開店 21店舗、閉店 1店舗
- ・スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 1店舗
- ・期末店舗数 685店舗(前期末比 +20店舗)

■ 出店状況

<店舗数>

地 域	4月~1月 出店実績	通期見通し
東 北	1	1
関 東		4
中 部	2	2
近 畿		
中 国		2
四 国	1	2
九 州	9	10
合 計	13	21



フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上でフランチャイズ化を推進

2012年3月期計画

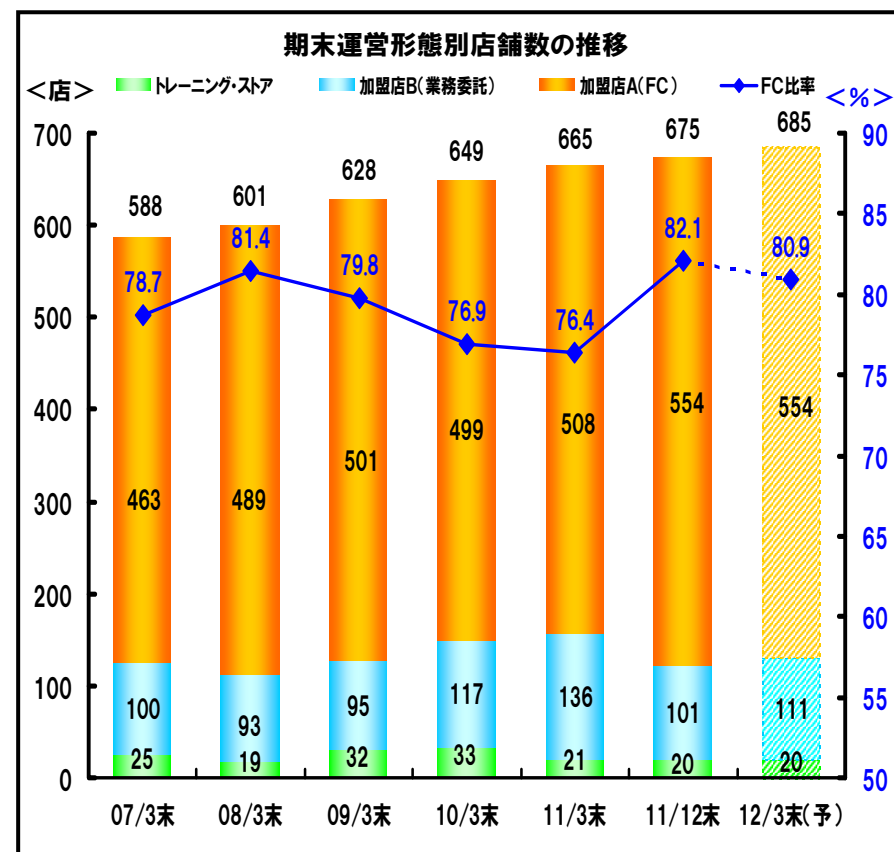
フランチャイズ・ストア(加盟店A契約) 554店舗(前期末比 +46店舗)

FC化状況

4月～12月の店舗運営形態の推移(開店含む)

<店>			
	増加	減少	増減合計
加盟店A(FC)契約 (内B契約からの変更)	+59 (49)	△13	+46
加盟店B(業務委託)契約 (内A契約からの変更)	+21 (0)	△56	△35
トレーニング・ストア	+26	△27	△1

・4月～12月の9ヶ月間の既存店1店舗平均売上高が前年同期より942万円向上し、フランチャイズ・ストア化が進む。



エブリデー・ロー・プライス(EDLP)政策の推進

コア(核)商品の売場訴求でEDLP政策を更に強化

■ 2012年3月期計画

- ・チェーン全店売上高に占めるEDLP商品販売構成比 43.0%
(前期実績 41.3%、前期比 +1.7ポイント)

■ EDLP政策の状況(4月~12月)

- ・EDLP商品売上高 174億円 前年同期比 +5.5%
- ・チェーン全店売上高に占める構成比 37.5%
(前年同期実績 41.7%、前年同期比 △4.2ポイント)

■ コア(核)商品の売場提案

販促媒体と売場作りを連動させてコア(核)商品をアピール

- ・鳶龍防寒ジャンパー(売価 1,580円)
販売数 4万7千着
(販売数前年同期比 +29.9% +1万1千着)
- ・ヒートワーク裏起毛ハイネックシャツ(売価 499円)
販売数 21万2千着
(販売数前年同期比 +59.9% +7万9千着)

※販売数及び前年同期比は第3四半期累計期間の実績です。



防寒ジャンパー売場(左)とFRM(納品時の姿のまま陳列出来る商品)を導入した裏起毛ハイネックシャツ売場(右)

プライベート・ブランド(PB)商品の開発

プライベート・ブランド(PB)商品の開発でEDLP政策を更に強化

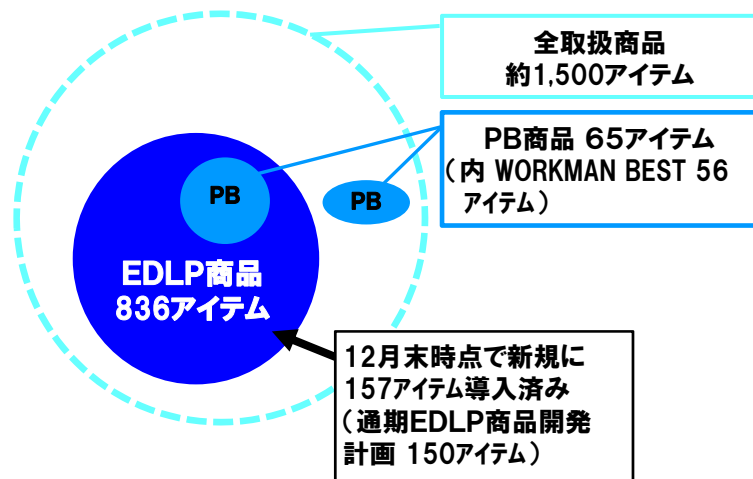
■プライベート・ブランド(PB)商品の開発で他店との差別化

- ・2011年1月より全店で展開スタート
- ・2011年12月末現在 65アイテムを展開(内 WORKMAN BEST 56アイテム)
- ・PB商品売上高 12億9千万円(チェーン全店売上高に占める構成比 2.8%)

■海外直接貿易取引でコスト削減による利益率の向上と商品の安定供給ルートの確保

- ・商品生産、物流システムの実験と検証
→販売状況、供給体制等を検証し商品と取引量を順次拡大

■商品展開の状況(2011年12月末)



2011年防寒「WORKMAN BEST」



ヒートアシスト吸湿発熱
肌着シリーズ
(1着 980円)
17万5千着販売



フリースネックウォーマー
(1個 199円)
11万3千点販売



ふんわりパイル靴下
(2足組 299円)
4万5千点販売

第3四半期決算の概要

2012年3月期決算の見通し

取組み状況

第3四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2011年 3月期末	2012年3月期 第3四半期末	増減	増減要因
流動資産	24,426	28,646	4,220	
現金及び預金	15,769	18,879	3,109	営業活動によるCF41億4百万円、投資活動によるCF △1億56百万円、財務活動によるCF△8億39百万円
加盟店貸勘定	3,985	4,807	822	対象店舗が55店舗増加(449店舗→504店舗) 店舗在庫の増加で貸付金額が1店舗当たり約66万円増加
商品	3,713	3,965	251	流通センター在庫が直接貿易の取引増加で7億20百万円増加 店舗在庫は直営店36店舗減少により約4億69百万円減少
固定資産	13,543	13,258	△284	
有形固定資産	6,722	6,589	△133	
建物(純額)	2,361	2,196	△164	出店・閉店状況 出店11店舗、S&B1店舗、閉店1店舗
構築物(純額)	676	628	△48	出店形態(S&B含む) 建物リース11店舗、土地リース1店舗
土地	2,966	2,966	—	
リース資産	425	544	119	5店舗で1億19百万円増加
無形固定資産	179	181	1	ソフトウェア取得
投資その他の資産	6,640	6,487	△153	
差入保証金	5,370	5,292	△78	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
繰延税金資産	550	504	△45	
資産合計	37,969	41,904	3,935	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2011年 3月期末	2012年3月期 第3四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	7,296	8,780	1,484	
買掛金・加盟店買掛金	2,838	3,530	691	チェーン全店仕入高 3月に比べ8億16百万円増加
未払法人税等	1,466	1,584	117	
その他	1,556	2,252	696	
未払金	972	1,601	628	加盟店分配金が3億11百万円増加 加盟店顕彰金を2億78百万円計上
固定負債	2,187	2,313	125	
リース債務	441	566	125	5店舗で1億25百万円増加
資産除去債務	559	568	9	
負債合計	9,483	11,093	1,610	
株主資本	28,485	30,810	2,324	
純資産合計	28,486	30,811	2,324	自己資本比率73.5% 1.5ポイント低下
負債純資産合計	37,969	41,904	3,935	

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2011年3月期 第3四半期累計期間		2012年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	6,783		8,480		+25.0	
加盟店からの収入	4,514		5,896		+30.6	加盟店期中平均店舗数 当第3四半期 532店舗、前第3四半期 503店舗 29店舗増 加盟店売上高 当第3四半期 400億26百万円、前第3四半期 331億 57百万円 20.7%増 荒利率 当第3四半期35.3%、前第3四半期35.2% 0.1ポイント向上
その他の営業収入	2,269		2,583		+13.9	チェーン全店仕入高前年同期比15.5%増加 業務受託収入16.4%増加
売上高	21,611		25,306		+17.1	
直営店売上高	6,559	(100.0)	6,477	(100.0)	△1.2	直営店期中平均店舗数140店舗(11店舗減)
加盟店向け商品供給売上高	15,052		18,828		+25.1	加盟店売上高20.7%増
営業総収入	28,395	100.0	33,786	100.0	+19.0	
直営店売上原価	4,145	14.6	3,673	10.9	△11.4	
加盟店向け商品供給売上原価	15,052	53.0	18,828	55.7	+25.1	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	19,197	67.6	22,502	66.6	+17.2	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2011年3月期 第3四半期累計期間		2012年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(2,413)	(36.8)	(2,803)	(43.3)	+16.2	仕入割戻しの増加と直買取引で仕入コストの減少
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	9,197	32.4	11,284	33.4	+22.7	
販売費及び一般管理費	5,698	20.1	6,000	17.8	+5.3	増減要因 人件費 約4,900万円増加 販売促進費 約1億6,300万円増加 (内、顕彰金 約1億6,700万円増加) 流通センター運営費用 約1億5,500万円増加 旅費交通費・消耗品等 約7,500万円増加 直営店舗期中平均11店舗減 約1億1,000万円減少 水道光熱費等 約3,000万円減少
営業利益	3,498	12.3	5,283	15.6	+51.0	
営業外収益	695	2.5	745	2.2	+7.2	
営業外費用	23	0.1	27	0.0	+19.7	
経常利益	4,171	14.7	6,001	17.8	+43.9	
特別損失	493	1.7	16	0.0	△96.7	減損損失 営業不振店3店舗、閉店予定店1店舗、転貸店1店舗、 遊休店1店舗で約16百万円
四半期純利益	1,950	6.9	3,141	9.3	+61.1	実行税率の見直しで繰延税金資産約83百万円取崩

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564 (JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>